

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月8日

**【四半期会計期間】** 第88期第3四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** ミヨシ油脂株式会社

**【英訳名】** Miyoshi Oil & Fat Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 堀 尾 容 造

**【本店の所在の場所】** 東京都葛飾区堀切四丁目66番1号

**【電話番号】** 03(3603)1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員経理部長 山 下 史 生

**【最寄りの連絡場所】** 東京都葛飾区堀切四丁目66番1号

**【電話番号】** 03(3603)1149

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員経理部長 山 下 史 生

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第3四半期 連結累計期間	第88期 第3四半期 連結累計期間	第87期
会計期間	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高 (百万円)	32,723	32,281	44,080
経常利益 (百万円)	551	703	915
四半期(当期)純利益 (百万円)	146	465	350
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	216	1,193	742
純資産額 (百万円)	18,874	20,284	19,400
総資産額 (百万円)	43,108	42,266	43,812
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	1.43	4.52	3.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.7	47.9	44.2

回次	第87期 第3四半期 連結会計期間	第88期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	0.55	0.15

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第87期第3四半期連結累計期間、第88期第3四半期連結累計期間および第87期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」から重要な変更または新たな発生はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による財政政策への期待を背景に円安・株高が進み、企業収益の改善や個人消費が持ち直す等、緩やかな景気回復の兆しが見られましたが、海外景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましては、大手流通の低価格志向は依然として根強く、さらに円安による原材料調達コストの上昇も加わり、厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズを的確に捉えた製品開発と販売活動を推進するとともに、生産体制の効率化とコスト削減等の業務改善活動を推し進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高322億8千1百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益7億1千3百万円（前年同期比30.5%増）、経常利益7億3百万円（前年同期比27.6%増）、四半期純利益4億6千5百万円（前年同期比217.2%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### 食品事業

食品事業につきましては、原材料価格が上昇基調で推移する厳しい市場環境のなか、主要需要先である製パン業界、製菓業界、即席麺業界向けに、マーガリン、ショートニング等の主力製品の拡販に努めましたが、需要の伸び悩みと根強い低価格志向により、売上高は前年同期を若干下回りました。

しかしながら、営業利益は、乳加工食品や粉末油脂等の高付加価値製品が新規市場開拓等で伸長したことに加え、品質管理体制の強化と生産体制の効率化をはじめとするコスト削減を推し進めたこと等により、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は232億円（前年同期比3.1%減）、営業利益は6億3千万円（前年同期比20.3%増）となりました。

## 油化事業

工業用油脂製品につきましては、脂肪酸やグリセリンの販売が、海外景気の減速懸念等により厳しい状況で推移いたしました。期後半からの円安による輸出の持ち直しにより回復基調で推移いたしました。

界面活性剤製品につきましては、トイレタリー・化粧品分野でシャンプー原料基剤および化粧品原料基剤が順調に推移し、紙・パルプ分野においても家庭紙用薬剤が伸長いたしました。

環境改善関連製品につきましては、廃水用重金属処理剤が低調に推移いたしました。飛灰用重金属処理剤は、がれき処理等の需要の増加により順調に推移いたしました。

その結果、売上高は89億3千4百万円（前年同期比4.7%増）と堅調に推移いたしました。営業利益は、原材料価格の高騰等により4千2百万円（前年同期は営業損失1千9百万円）となりました。

## (2) 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億4千5百万円減の422億6千6百万円となりました。主な減少は現金及び預金4億9千2百万円、受取手形及び売掛金15億6千6百万円、「投資その他の資産」その他（繰延税金資産）5億6千1百万円であり、主な増加は投資有価証券10億円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ24億2千9百万円減の219億8千2百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金15億5百万円、有利子負債9億1千3百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億8千3百万円増の202億8千4百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金7億2千9百万円、利益剰余金1億5千6百万円です。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の44.2%から47.9%に増加しました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11億1千7百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、国内人口の減少による需要の低迷に加え、大手流通の低価格志向による競争の激化、さらに急激な円安による油脂原料価格の高騰により、今後は一層厳しい状況で推移すると思われます。

このような事業環境において当社グループは、生産体制の効率化と業務改善活動による一層のコスト削減と製品価格の改定を推し進め、収益確保に努めます。また、食品事業および油化事業の両事業を柱に、お客様に喜ばれる付加価値の高い製品開発と用途開発に注力してまいります。

(6) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は財務体質の改善を重点課題とし、そのために事業の最適化の実行および付加価値の高い事業領域へのシフト、さらに新規事業の開拓を力強く推し進めてまいります。

メーカーは技術革新が重要であることを認識しつつ、お客様のニーズにお応えする製品やサービスを提供することにより、強固な経営を推進してまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	298,971,000
計	298,971,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	103,068,954	103,068,954	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	103,068,954	103,068,954		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月30日		103,068		9,015		5,492

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年6月30日の株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 39,000		
	(相互保有株式) 普通株式 106,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 102,739,000	102,739	
単元未満株式	普通株式 184,954		
発行済株式総数	103,068,954		
総株主の議決権		102,739	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権5個)含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式118株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ミヨシ油脂株式会社	東京都葛飾区堀切 4丁目66番1号	39,000		39,000	0.04
(相互保有株式) 日本タンクターミナル 株式会社	千葉県美浜区新港 2番地の1	106,000		106,000	0.10
計		145,000		145,000	0.14

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役執行役員 (総務・経理・情報システム 担当兼経理部長)	取締役執行役員 (経理部長)	山下 史 生	平成25年 3 月28日
取締役執行役員 (食品技術・食品品質保証・ 知的財産担当兼食品技術 本部長兼知的財産部長)	取締役執行役員 (食品技術本部長 兼知的財産部長)	深 野 英 則	平成25年 3 月28日
取締役執行役員 (業務提携推進担当)	取締役執行役員 (業務提携推進担当兼 食品技術本部技術企画室長)	梨 木 宏	平成25年 4 月 1 日
取締役	取締役執行役員 (業務提携推進担当)		平成25年 8 月 2 日



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,867	4,374
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 12,137	10,570
商品及び製品	2,197	2,166
仕掛品	500	574
原材料及び貯蔵品	1,758	1,923
その他	532	416
貸倒引当金	13	11
流動資産合計	21,980	20,014
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	4,464	4,342
機械装置及び運搬具（純額）	3,421	3,529
土地	5,324	5,327
その他（純額）	587	601
有形固定資産合計	13,798	13,801
<b>無形固定資産</b>		
その他	202	197
無形固定資産合計	202	197
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,012	7,012
その他	1,855	1,276
貸倒引当金	36	35
投資その他の資産合計	7,830	8,253
<b>固定資産合計</b>	21,831	22,251
<b>資産合計</b>	43,812	42,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>1</sup> 9,091	7,585
短期借入金	2,975	2,975
1年内返済予定の長期借入金	1,203	5,002
未払法人税等	19	80
その他の引当金	9	29
その他	<sup>1</sup> 1,919	1,851
流動負債合計	15,217	17,524
固定負債		
長期借入金	5,649	943
退職給付引当金	2,807	2,773
役員退職慰労引当金	510	516
その他	225	223
固定負債合計	9,193	4,457
負債合計	24,411	21,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	4,492	4,648
自己株式	22	23
株主資本合計	18,976	19,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	398	1,128
その他の包括利益累計額合計	398	1,128
少数株主持分	25	23
純資産合計	19,400	20,284
負債純資産合計	43,812	42,266

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,723	32,281
売上原価	27,752	27,061
売上総利益	4,971	5,219
販売費及び一般管理費	4,423	4,505
営業利益	547	713
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	93	89
持分法による投資利益	20	38
その他	99	83
営業外収益合計	216	213
営業外費用		
支払利息	185	192
その他	27	32
営業外費用合計	212	224
経常利益	551	703
特別利益		
投資有価証券売却益	20	91
その他	0	0
特別利益合計	20	92
特別損失		
有形固定資産除却損	27	38
損害賠償金	258	-
その他	0	-
特別損失合計	285	38
税金等調整前四半期純利益	286	757
法人税、住民税及び事業税	19	68
法人税等調整額	122	225
法人税等合計	141	294
少数株主損益調整前四半期純利益	145	463
少数株主損失( )	1	2
四半期純利益	146	465

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	145	463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	726
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	70	729
四半期包括利益	216	1,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217	1,195
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理をしております。  
 なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	403百万円	百万円
支払手形	305	
その他(設備関係支払手形)	152	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	1,098百万円	1,013百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月28日 定時株主総会	普通株式	205	2	平成23年12月31日	平成24年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	308	3	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,954	8,533	32,488	234	32,723		32,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65		65	104	170	170	
計	24,019	8,533	32,553	339	32,893	170	32,723
セグメント利益 又はセグメント損失( )	524	19	504	42	547		547

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,200	8,934	32,135	146	32,281		32,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78		78	105	184	184	
計	23,278	8,934	32,213	252	32,465	184	32,281
セグメント利益	630	42	672	41	713		713

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1円43銭	4円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	146	465
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	146	465
普通株式の期中平均株式数(千株)	102,987	102,984

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ミヨシ油脂株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 太 田 莊 一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 井 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミヨシ油脂株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミヨシ油脂株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。